

ビィラ通信

第44号

平成30年 7月発行

発行者:社会医療法人 寿楽会

介護老人保健施設 箕面グリーンビィラ



平成30年 6月より

施設長 就任 岩崎 誠 (医師)

どうぞよろしくお願ひ致します。

～ご挨拶～

平成30年6月1日より齊藤前施設長の後任として着任しました岩崎誠と申します。今まで病院勤務ばかりでしたので、新たな仕事内容となり、至らぬ点多々あるかと思ひます。幸ひ経験豊富な施設スタッフが揃っていますので、一致団結し、皆さまのお役に立てればと考えております。

医療をはじめ、看護・介護・リハビリが、ご利用者様の生活の質を高め、より安心して生活の継続ができるよう努めて参ります。

これまでの経験、専門性を活かしながら、決意新たに取り組んで参ります。

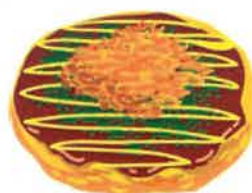
今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

お好み焼きバイキング(入所・通所)

☆6月

1階食堂におきまして、お好み焼きバイキングを開催致しました。
鉄板を使用して実演が始まると、お好み焼きがジュージュー焼ける音、
美味しそうな香りに包まれました！！ご利用の皆様もスタッフも、焼き
立てフワフワの大阪の味に舌鼓を打ちました。

～食べることの楽しみ～ やっぱり良いものですね！



療養フロアー



お散歩レクリエーション

療養3階では近くの神社へ外出に行きました。

お天気も良く、絶好のお散歩日和になりました。

神社までには階段もありましたが、職員と共に力を合わせて上がりきると、『上がれると思わなかった♪』等喜ばれる姿も見られました。その後1人1人お参りをしました。

皆様の笑顔も太陽に負けないくらい、キラキラと輝いていました。



デイケア便り

🏰ローズフェスタに出かけました🏰

5月15日(火)万博記念公園の中にある「平和のバラ園」への外出レクを行いました。

約140品種、5,600株の見事な花々の香りにつつまれて40分程度の散策を楽しみました。



デイケアでは今後もお買い物レクや調理レクなど、利用者様に楽しんでいただけるレクリエーションを企画してまいります。

リハビリ便り

今回は、日頃行っているリハビリのご様子をご紹介します。



入所

在宅生活の実現やより良い施設生活の継続のため、身の回りのことをできるだけ自分で行えることや趣味・楽しみへの意欲・向上を図ることで「その人らしく」生活できるよう個々に応じたリハビリを行います。



お部屋で



リハビリ室で



皆さまと一緒に



外でも

通所

出来る限り自立した在宅生活が継続できるように、個々に応じたリハビリを行います。またご希望に応じて自主トレプログラムを作成し、ご利用日以外でもリハビリを継続して頂ける様支援します。

訪問

理学療法士がご自宅を訪問し、お身体の状態や家屋状況を確認すると共にご利用者様やご家族様のご要望もお伺いし、その方のためのオリジナルのリハビリプログラムを作成して、一緒に実践していきます。

Q：ロコモティブシンドローム（ロコモ）ってご存知ですか？

⇒A：運動器（筋肉、骨、軟骨、椎間板等）の障害の為に移動機能の低下した状態をいいます。進行すると介護が必要になるリスクが高くなります。次号ではロコモ度をチェックしてみましょう！





はい厨房です

もうすぐ夏本番！グリーンビラの食卓にも、キュウリやトマト、ナス、ピーマン、オクラに冬瓜といった夏野菜の出番が増えてきました。水分たっぷりの夏野菜には体にたまった熱を逃がしてくれる効果があります。暑さと湿気で食欲も衰えがちな夏は、体力の消耗の激しいとき。十分に睡眠をとって、バランスの良い食事をふだん以上に心がけましょう。

日頃私たちは、食事からも1日に必要な水分をとっているのですが、食事の量が減ってしまうと“脱水”を起こしやすくなります。体から水分が不足すると体の様々な機能を維持することが難しくなります。水分や食事摂取不足、発熱、下痢、嘔吐などがあると“脱水”になりやすく、年齢を重ねると、もともとの体の水分量が少なくなっているうえに、のどの渇きを感じにくくなったり、様々な病気による症状との区別が付きにくいため“脱水”を見逃しやすくなっています。熱が出たり、おしっこの回数が少なくなったりしていませんか。のどが渇いていなくても、こまめに水分補給を心掛けましょう。“

脱水”は水分だけでなく同時に塩分なども失っています。塩分が豊富に含まれている梅昆布茶やみそ汁も有効といわれていますが、最近は水分と塩分を速やかに補給できるように調整された経口補水液を手軽に薬局で買うこともできるのでストックしておいてもいいかもしれませんね。

ボランティアさん大募集！



午前でも午後でも、少しのお時間でも・・・

お話し相手・配膳・下膳・ドライヤーかけ・車椅子清掃・喫茶・園芸など手軽に始められるものから・・・書道・生け花・詩吟・草・籐細工など専門性を活かしたものを職員と一緒に・・・

日常の営み・趣味の活動を共に行うことで交流が深まり、心のケアにもつながります。

又、ボランティアさん自身の心の豊かさを育み、しいては、より良い社会作りの第一歩となります。お待ちしております！

編集後記

早いもので今年も半分が過ぎましたね。先月の地震には本当に驚きました。当施設は大きな被害も出ず、又、ご利用の皆様も無事に過ごすことができました。職員も団結して、電話による安否確認や訪問に出かける等の対応にあたりました。これを機に改めて災害への備えの重要性を認識致しました。備蓄品の整備や補充、エレベーターの点検、安全な導線の確保など、継続するもの新たに追加するものを見極める必要があります。

8月8日の夏祭りは18：30より行います。お待ち申し上げます。

ご愛読ありがとうございました。

新聞委員・古田 奈須 高木 伊東 廣田 関 小林